

初代王者「金沢スカイヤーズ」が2度目の栄冠

「2011専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会」の準決勝と決勝、表彰式・閉会式が8月9日、横浜スタジアムで行われた。

準決勝を勝ち上がった金沢スカイヤーズ（金沢区代表）とリトルバイキングズ（磯子区代表）による決勝戦は、4回表にリトルバイキングズが1点を返したが、金沢スカイヤーズがリードを守りきり、6対1で勝利。優勝した金沢スカイヤーズ都坂正雄監督は、「守りのチームでしたが、今年は、打って走れる攻めのチーム作りをしてきた。雰囲気はいい感じがしていたが、優勝は奇跡的です」と第1回大会の優勝以来5年ぶり、2度目となる優勝の喜びを語った。

3位は保土ヶ谷メッツ（保土ヶ谷区代表）と南生田ウィングス（多摩区代表）。

表彰式では、優勝チームに室井義雄副学長（大会会長代行）から賞状、優勝旗、優勝カップ、が、県少年野球連盟会長の鈴木一誠大会副会長から賞状、優勝盾が贈られ、栄誉を称えた。

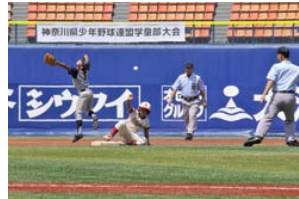
県野球連盟が選ぶ優秀選手賞には、金沢スカイヤーズの堀江悠介選手（6年生）が、敢闘賞には、リトルバイキングズの伊東彪樹選手（6年生）がそれぞれ選ばれ、県野球連盟から表彰された。入賞チームには、監督・コーチを含めた全員に記念のメダルが授与された。

室井副学長は、「選手の皆さんには、この厳しい暑さのなか、横浜スタジアムの熱戦に挑んだことは多くを学んだことでしょう。これから、日本や世界に通用するような高い目標や夢を持って、成長していってください。また、多くの関係者の皆さんに支えられて、大会を無事に終えられたことに感謝します」とあいさつ。鈴木一誠大会副会長のあいさつの後、閉会した。

優勝チームは、8月19日にtvkの昼のワイド番組「ありがとっ!」に出演し、喜びを語る。なお、大会の模様は、同25日18時30分よりtvkで2時間50分の特別番組として放送される。



▲熱戦が繰り広げられた横浜スタジアム



▲優勝を喜ぶ選手たち



▲6代目王者に輝いた金沢スカイヤーズ



▲室井大会会長代行より優勝旗が贈られる



▲記念のメダルを授与